



理工チャレンジの取組について

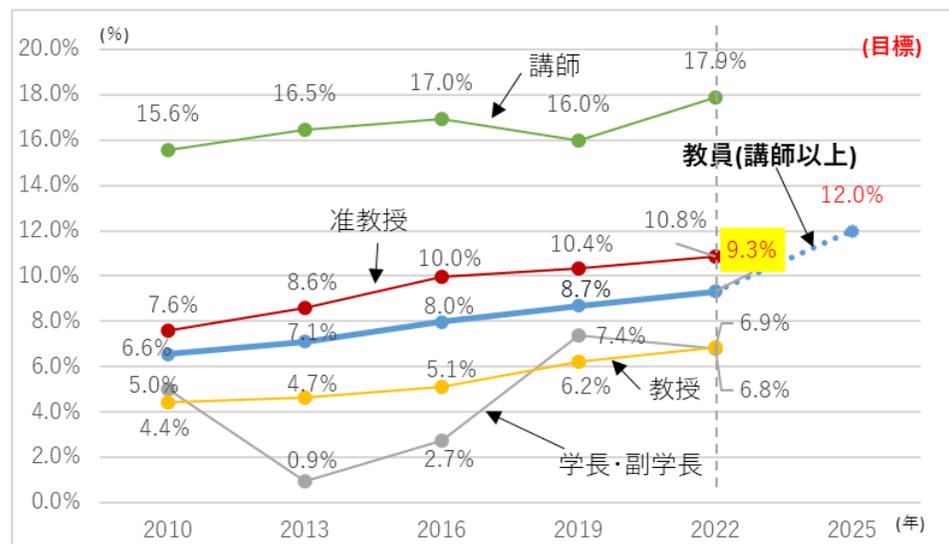
令和7年1月
内閣府男女共同参画局

第5次男女共同参画基本計画の成果目標と現状

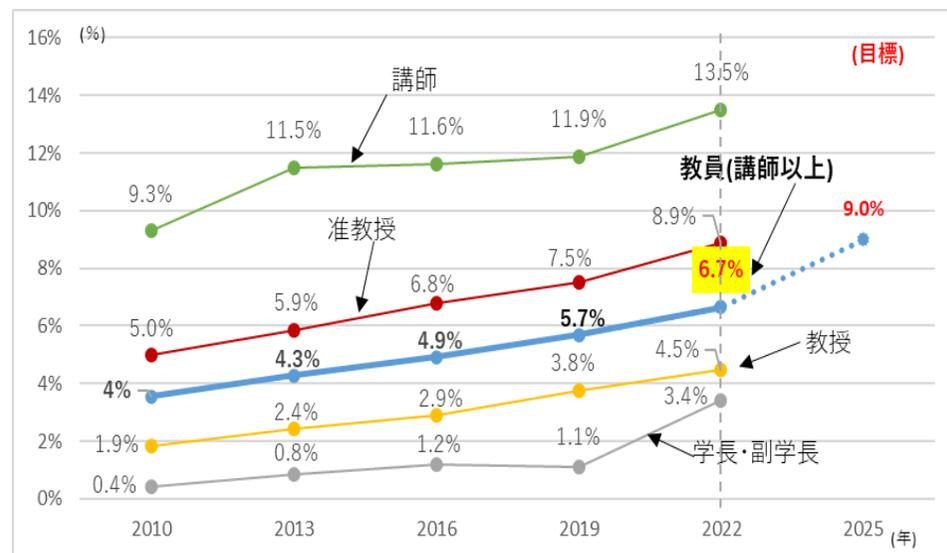
項目	成果目標(期限)
①大学の理工系の教員(講師以上)に占める女性の割合	理学系:12.0%、工学系:9.0%(2025年)
②大学の研究者の採用に占める女性の割合	理学系:20%、工学系:15%、 農学系:30%、医歯薬学系:30%、 人文科学系45%、社会科学系:30% (2025年)
③大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合	前年度以上(毎年度)

①大学の理工系の教員(講師以上)に占める女性の割合

【理学系】



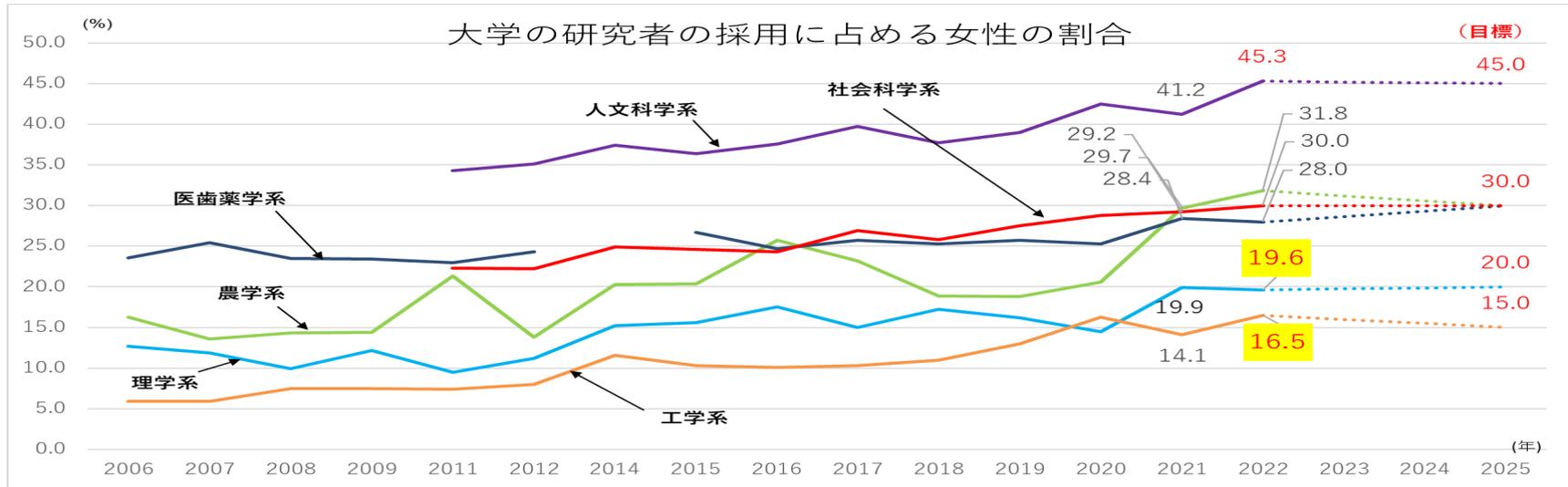
【工学系】



資料出所: 文部科学省「学校教員統計調査」
 ※資料出所は、実績値の出所を示すもの。
 ※2025年1月7日現在、2022年度が最新値。

第5次男女共同参画基本計画の成果目標と現状

②大学の研究者の採用に占める女性の割合

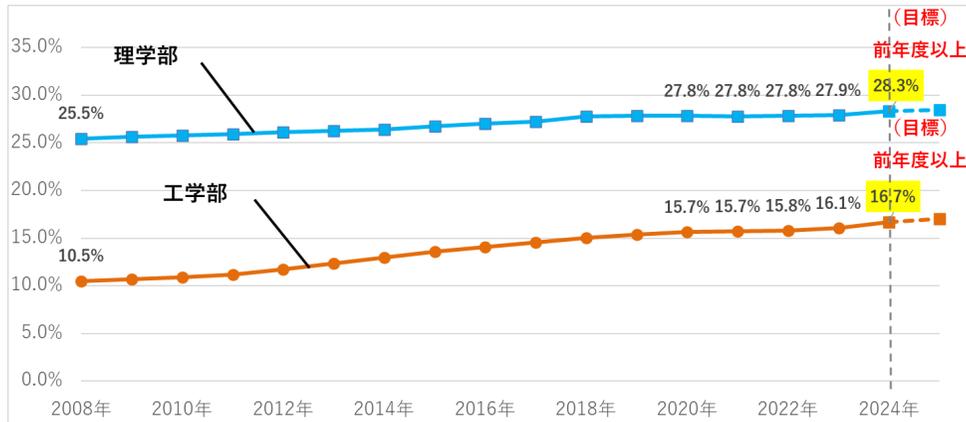


資料出所: 文部科学省調べ

※大学が採用した教員(非常勤教員を除く)のうち、教授、准教授、講師、助教について集計。

※2014年は、「保健系(医学・歯学・薬学系)」と「保健系(その他)」を区別せず、保健系全体の数値を集計している。

③大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合



2024年度女子学生数	
理学部	22,998人
工学部	65,060人

資料出所: 文部科学省「学校基本統計」(各年5月1日現在)

理工チャレンジ（リコチャレ！）～女子生徒等の理工系への進路選択を促進～ 取組概要



リコチャレは、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援するため、平成17年（2005年）より内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。



取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和6年度実績 119団体228イベント実施
約6,900名が参加
(令和5年度実績：96団体162イベント実施
約6,300名が参加)

理工系女子応援 ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

STEM Girls Ambassadors による理工系女性人材育成

- ・STEM Girls Ambassadorsを派遣し、全国各地で講演等を開催

募集

リコチャレ応援団体

- ・理工チャレンジの趣旨に賛同する大学、企業、学術団体等 933団体（令和7年1月8日現在）
（令和6年3月31日時点：907団体）

理工系女子 応援ネットワーク

- ・リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体231団体(令和7年1月8日現在)
(令和6年3月31日時点：221団体)

若手理工系人材 (ロールモデル) による出前授業

- ・人口5万人未満の市区町村の自治体や学校へ、企業・大学等の理工系人材を派遣

ウェブサイト 「理工チャレンジ」

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性(ロールモデル)提示等

調査研究

- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択支援を目的とした各種支援策の調査研究、事例集作成
- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択を阻害するアンコンシャス・バイアスの払拭を目的とする研修用動画制作

ウェブサイト「理工チャレンジ」

【事業概要】

リコチャレ応援団体（※）の紹介、イベント等の掲載。そのほか、先輩理工系女性からのメッセージを掲載するとともに、質問も可能。

※リコチャレ応援団体：933団体（令和7年1月8日現在）

団体数内訳（行政機関：56団体、企業：313団体、学術・研究機関等：143団体、大学等：371団体、その他：50団体）

※参考（令和6年3月31日時点）リコチャレ応援団体：907団体

団体数内訳（行政機関：53団体、企業：297団体、学術・研究機関等：140団体、大学等：368団体、その他：49団体）

理工系のお仕事体感しよう！ 理工系に進むとどんなお仕事があるの？

夏のRikoChallenge 2024

あ、この夏、ステキな理工系の未来をほしにいきませんか？！

概要

職場見学・仕事体験・女性技術者や研究者との交流など理工系の仕事や将来に繋がるイベントを開催します。

開催日程は限らない、ものづくりや建設の現場を見たり、ステキな理工系女子の先輩の話も聞いたり！ 貴重な機会です！

2024年7月

日	月	火	水	木	金	土
6月のイベント情報						
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

2024年8月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

9月以降のイベント情報

6月

男性・女性どちらでも可 女性限定 女性限定（保護者様、関係者は男性・女性どちらでも可）

「リコチャレ応援団体」「理工系女子応援ネットワーク」の紹介

旭建設株式会社

高崎県日南市向江町1丁目200番地

組織概要

「便利になった」「近くなった」「安心して暮らせる」「ありがとう」ただその言葉をもらっただけでいい。素直に得られる仕事、四方よし（地域よし、発注者よし、企業よし、未来もよし）を目指し、昭和34年以降築き上げた経験を活かし、「土木の魂」を追求しています。

「地域よし」として地域に密着したボランティア活動（地域福祉活動）を、「発注者よし」として高品質の工事を完了させ、「企業よし」として社員の人材向上を目指し、「未来もよし」として未来を担う子供たちに気づきの心を育ませています。当社は土木工事の施工管理を主な仕事としており、建設・土木科出身の技術者だけでなく、様々な学科の人材が活躍しています。そして「常に考える」の精神で、危険ゼロを目指し、安全と健康の確保を最優先としながら業務を行い、挑戦し続ける会社であり続けます。

理工系分野・部門の紹介

当社は、鉄道や法面、運河・橋梁・トンネルといった主に官公庁の土木工事一歩を行う建設業です。暮らしやすい世の中にし、豊かな地域や国土を子供や孫の代まで残していくため日々仕事に励んでいます。当社の仕事は施工管理です。施工管理とは、工程管理や安全管理、品質管理などを現場で行い、発注者との打合せや現場での指導を行う現場管理や監督業務が主な仕事です。女性も技術者でも大いに活躍できる仕事です。現在では、多くの建設の企業で女性技術者が活躍するに比べて活躍しています。

<<新人女性技術者の一日>>

入社2年目

酒井希実さん(23歳)の1日

5:30	起床
7:25	通勤入社
7:30	朝礼、KY活動

理工チャレンジ

女子中高生・女子学生の理工系分野への選択

先輩からのメッセージ

酒井希実さん

旭建設株式会社 工事部ITサポートマネジメント部門

2017年に入社し、工事全体の管理やICT関連業務など、現場に携わった経験から、女性技術者として働き出し二年が経ちました。大学を卒業するまで、土木についての勉強をしたことはありませんでしたが、その分、日々新しい発見があり毎日が勉強で、充実した日々を過ごしています。

理工系分野を選択した時期・理由

高2年生の時に、合同説明会で聞いた「地域に根ざった仕事」「地域の為の仕事」という言葉に感動を受けて入社を決めました。自分の住んでいるところが自然に囲まれていることもあり、自然に携わる仕事が出来たこと、そしてずっと憧れていた夢の道に何かがしたい！そう感じたことも土木技術者の道に進むきっかけになりました。

現在の仕事（研究）の魅力やおもしろさ

道を築いたり、道路を作ったり、様々な工程を経験できることが魅力的です。そして、現場は毎日少しずつ完成に近づいていく、そんな日々変わる現場を間近で見られることも、現場に携わる人たちの特徴だと思います。そして、学生の頃に経験した「何かを成し遂げる為に、みんなで頑張る」という行為も経験できます。それも、現場毎に関わる人が違う為、その経験新しい喜びを得ることが出来ます。『試行した分、達成感がある』建設業界にはこの言葉がピッタリだと思います。

女子中高生・女子学生の皆さんへのメッセージ

『土木』と聞くと、毎日汗を流し、泥まみれになりながら頑張る仕事…そんなイメージをもちたれる方が多いと思います。私もそう思っていました。実際は3次元のデータを作成したり、業者の方と打ち合わせをしたり、対外的な仕事が大半を占めています。安全かつ期限までに仕事が完了できるような仕事をこなしていく、それが建設業です。普段行かなく通っている街や道路を、実際に作る様になってみると、ありがたいと思うことが増えました。前に担当していた現場では高層道路の舗装をつくる仕事をしていましたが、その場所を通るたびに「私が関わった場所だ」と達成感を見えます。私達の仕事は、今も未来まで大切にするお仕事です。自分の大好きな地域を守り、支えていける建設業界と一緒にチャレンジしてみませんか？

夏のリコチャレ2024 ～理工系のお仕事を体感しよう！～

【事業概要】

- ・主に女子中高生等を対象に、夏休み期間を利用して、企業・大学・学術団体等が実施する理工系女子応援イベントに関する広報事業。
- ・内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会の共催事業。
- ・**職場見学、工場見学、シンポジウム、実験教室、先輩女性社員との交流等**



こども霞が関見学デー「求む！未来の理工系女子！」
(株式会社エスワイシステム・内閣府男女共同参画局)



「女性技術職員と親子で遊ぼう！」
夏休み子どもサイエンス2024
(大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク)

夏のリコチャレ2024開催実績

119団体228イベント
6,900名以上が参加

(参考) 2023開催実績

96団体162イベント
6,300名以上が参加



「フジタで“見て、触れて”楽しく学ぼう 建設」
(株式会社フジタ)



「夏休み体験型科学教室2024」
(NTT情報ネットワーク総合研究所)

理工系女子応援ネットワーク会議

【事業概要】

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体を主な対象として開催。取組に関心のあるリコチャレ応援団体と、自治体も参加
- ・令和6年度は10月23日にオンラインで開催 110団体・145名が出席。
※（参考）令和5年度は10月25日にオンラインで開催 72団体・101名が出席。
- ・事例紹介、情報交換、団体間ネットワーキング等、今後に向けた連携強化を行う

【令和6年度開催内容】

1. 取組事例発表（地方公共団体の事例）：和歌山県庁

- ・地方自治体と企業・大学等が連携して行う産学官連携イベントの実例について
- ・STEM Girls Ambassadors 事業の紹介について 等

2. 取組事例発表（大学の事例）：大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク

- ・リモートと現地参加のハイブリッド開催におけるノウハウ共有
- ・参加者確保の工夫、実施したプログラム構成、保護者への働きかけの重要性について 等

3. 取組事例発表（企業の事例）：株式会社フジタ

- ・イベントの実施に当たり、工夫した点について 等
（早い段階でプログラムを決定し、チラシに反映すること、参加者の年齢層が幅広い場合はグループ分けを行うこと、体験のみでなく、参加者が将来を考える時間を設けること等）

4. グループディスカッション

- ・イベント実施済みの団体からイベントや集客の工夫点の情報共有
- ・イベント実施に関する疑問点の質問確認、意見交換 等



進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2024 動画公開セミナー（シンポジウム）

【事業概要】

- ・女子中高生、保護者、教員等を対象に、内閣府・文部科学省・JST・経産省の共催にて開催
- ・令和6年7月8日公開

進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2024 動画公開セミナー



基調講演

行木 陽子

中央大学特任教授/
NPO法人日本女性技術者フォーラム理事長

プロフィール

栃木県出身。大学では社会学を専攻し日本IBMに入社後研修を受けてITエンジニアになりました。そんな私が同社で技術理事に就任し、グローバルのメンバーと共に最先端のテクノロジーを活用したDX(デジタル・トランスフォーメーション)分野を牽引。大学では、AI/データサイエンス講座や産学連携のビジネスプロジェクト講座を担当しています。社会人になってから情報工学の修士、大学に移ってから高齢化社会における情報格差の研究を進め博士の学位を取得しました。

理系で広がる私の未来2024



講演

砂川 玄志郎

理化学研究所 生命機能科学研究センター
冬眠生物学研究チーム
チームリーダー

プロフィール

1976年福岡生まれ。2001年から小児科医として勤務。冬眠するサルの存在を知り、ヒトを冬眠させれば多くの命が助かることに気づき、2006年から研究者の道へ。大学院と研究員時代を含めて約10年間、哺乳類の睡眠研究を行う。2015年から網膜再生医療開発プロジェクトにて冬眠研究を始める。2022年から生命機能科学研究センター 冬眠生物学研究チームを主宰。人間を冬眠させるための研究開発を行っている。

理系で広がる私の未来2024



理系で活躍する先輩による経験談発表

木邑 真理子

金沢大学理工研究域 助教

プロフィール

2015年、京都大学理学部卒。同大学院理学研究科に進学し、修士課程および博士課程を修了。専門は宇宙物理学・天文学で、ある日突然明るく輝く変光天体の研究を行っている。学生時代は主に可視光観測を行っていたが、2020年、理化学研究所の基礎科学特別研究員に兼任してからは、X線観測にも注力する。2023年、金沢大学にデュニアトラック助教として着任。これまでの研究を活かし、多波長観測による研究を推進している。

田中 亜実

立命館大学 理工学部電子情報工学科
准教授

プロフィール

立命館高校(スーパーサイエンスプログラム1期生)を卒業。立命館大学理工学部を卒業後、同大学大学院で博士前期課程を修了。その後、同大学大学院の博士後期課程に進学し、博士(工学)を取得。立命館大学理工学部電子情報工学科の特任助教、講師を経て、2023年より立命館大学理工学部電子情報工学科の准教授。身の回りのわずかなエネルギーを電力に変換して活用するセンサシステムの構築に関する研究に従事。

武島 侑里

南海電鉄 公共交通グループ鉄道事業本部
えきまち計画推進部

プロフィール

1996年生まれ奈良育ち。大阪市立大学工学部都市学科で、まちづくりを中心に建築や土木を学び、よりまちづくりへの理解を深めるため、同大学の大学院(都市計画研究室)へ進学。趣味のカメラを活かしながら、まちづくりに関する研究論文やプロジェクト活動に取り組む。まちづくりと強い繋がりがある鉄道会社で、沿線をより魅力的にデザインする仕事ができると南海電鉄に入社し、建築担当として駅のリニューアルなどを担当している。

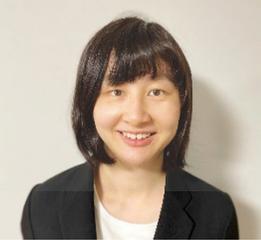
金子 明香里

BIPROGY株式会社 市場開発本部
データ&AIサービス部 Rinzaサービス室

プロフィール

学生時代、理工学部の表現工学科にてデザイン制作や表現技術について学ぶ。大学卒業後はBIPROGY株式会社に入社し、入社5年目までSEとしてシステム開発を担当。その後、業務提携先にてデータインフォームドの考え方や分析手法を学び、現在データサイエンティストとしてデータ分析業務に従事。データサイエンティストの教育にも携わり、教材開発や講師を担当するほか、サービスの適用や開発に取り組んでいる。

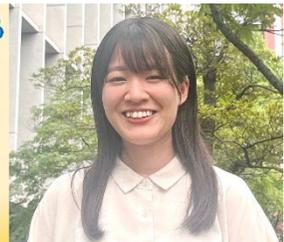
理系で広がる私の未来2024



理系で広がる私の未来2024



理系で広がる私の未来2024



理系で広がる私の未来2024





【事業概要】

女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。ロールモデルの提示策を強化すべく、令和4年度に、メッセージ動画を男女共同参画局公式YouTubeにて公開。

【主な活動】

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上でのメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動

Ambassador一覧（令和6年10月1日時点） ※敬称略・五十音順	
阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル執行役員兼インド現地法人代表取締役会長
杉本 雛乃	経済産業省
ズナイデン房子	日本マクドナルド株式会社 取締役上席執行役員 CMO
田中 純子	広島大学理事・副学長/ 大学院医系科学研究科特任教授
玉城 絵美	H2L,Inc.CEO、琉球大学工学部教授、東京大学大学院工学系研究科教授
中島 さち子	音楽家、数学研究者、株式会社steAm代表取締役
行木 陽子	中央大学 特任教授、NPO法人日本女性技術者フォーラム 理事長
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺 美代子	日本大学 常務理事、NPO法人ウッドデッキ 代表理事

STEM Girls Ambassadors

理工系女子応援大使のご案内

理工系の最前線で活躍するSTEMGirls Ambassadorsが、理工系の魅力をお伝えします。講演会やイベントへの派遣を希望する学校や地方公共団体はお気軽に御相談ください！

派遣費用は内閣府が負担します！

阿部 玲子 REIKO ABE
杉本 雛乃 HIMANO SUGUMOTO
ズナイデン房子 FUSAKO ZNAIDEN
田中 純子 JUNKO TANAKA
玉城 絵美 EMI TAMAKI
中島 さち子 SACHIKO NAKAJIMA
行木 陽子 YOKO NAMEKI
山崎 直子 NAOKO YAMAZAKI
渡辺 美代子 MIYOKO WATANABE

※派遣費用については内閣府が負担します。【旅費・滞在費】
※主に女子中高生を対象としていますが、小学生や男子生徒、保護者等の参加も歓迎します。

問合せ先
内閣府男女共同参画局推進課理工学チャレンジ事務局
03-6257-1181 g.riko-challe@cao.go.jp

STEM Girls Ambassadors派遣申請フォームはこちら <https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0429.html>

令和6(2024)年度イベント数・参加者概数 (※令和6年10月1日時点)	
令和6(2024)年度イベント(予定)数	16イベント
令和6(2024)年度イベント参加(予定)者概数	3,400名
令和5(2023)年度イベント数・参加者概数 (※令和6年3月31日時点)	
令和5(2023)年度イベント数	18イベント
令和5(2023)年度イベント参加者概数	3,800名

令和2年度調査研究 男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり ～中学校を中心として～

【事業概要】

教員等の指導者の方々へ向けて、

○男女共同参画の視点の必要性

○無意識に持っていた固定概念・考え方や言動への気付き

<無意識に行っている言動>

- ・テストの点数の良かった女子生徒に、「女子なのに数学／理科ができて、すごいね」と言葉をかけている

- ・理科の実験授業において、操作は男子、記録は女子、という生徒間の役割分担が自然とできており、それに任せている

○男女共同参画に配慮した理数授業の事例

○教員のアドバイスをきっかけに理数系に進んだ女性の事例

等から構成される、啓発資料「男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり～中学校を中心として～」を作成。



▲じゃんけんをしながら確率を計算する ▲授業で生徒が作成したイルミネーションの一部 ▲生徒が実際に行った板書発表の内容様子

⇒ 文部科学省と連携して普及を図り、教員等の指導者の無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払しょくに取り組む。

※文部科学省から都道府県教育委員会に対し通知を發出し、文科省HPにリンクを掲載。

啓発資料

第3章：H頃のふるまいを振り返ろう

■第3章の目的

この冊では、読みが持っているアンコンシャス・バイアス（潜在利に持っている思い込み）に自ら気づき、男女共同参画の視点を踏まえた授業の実現に向けたふるまいや生徒との接し方についてどのように改めると良いかを明確にするための活動を紹介する。
なお、本書の第2章「自分を知らう」に掲載していた「啓発学習」を補って読んでほしい。自身のバイアスに基づいた自分の方法です。

『「啓発学習」を振り返ってみたい」の解説』

自分が見た啓発学習の絵を、以下の欄で振り返ってみたい。

人種	性別	職業・役
髪型	服装等 (どこにいるか)	行動 (何をしているか)

○イギリスとアメリカの学校での活動を実施したところ、大多数の生徒が白人で、職業もが、国を産出し、売っているか重要な要素とした男性が、 $1+1=2$ のような簡単な公式が書かれた黒板の前立っている様子を撮りました。

○近年の研究によると、社会の男女平等が進んでいるにも関わらず、女性を数学者として認識している人は男女とも非常に少ないということが指摘されています。また数学者のみならず物理学についても同様の研究結果が出ています。こうした状況を改善するには、理工分野における女性のロールモデルを周知し、適宜に啓発学習として認められた女性が直面した課題を探ることが重要であると考えられています。

振り返ってみていかがでしたでしょうか？ 物理学やその他研究員を題材にした、生徒と一緒に実施してみること新たな気づきを得ることがあるでしょう。

【キーワード】男性優位のエンゲル・ステレオタイプ

■指導者教育事例

2022年にオーストラリアのケヴィン州で公開された教員研修プログラムに掲載されている活動の中から、本書では啓発学習に関する以下の3つを紹介する。
これらの活動は他教科にも応用でき、特別に教材が必要なく、実際に実施できるものばかりです。教員センターや各半信程度で実施する教員向け研修の材料としても取り入れてみてほしい。また、教員と生徒が一緒に取り組めるものもあるので、授業の一環として活用したことも可能です。

No.	活動名	対象者	活動概要
1	エンゲル・バイアスと啓発学習	教員	✓ 統計的に作成した生徒のプロフィールを見ながら、その生徒の職業として教員が選ばれます。
2	啓発に対する態度	教員・生徒	✓ 生徒に似たアンケートを実施し、教員が結果を分析する（生徒が結果を分析することも可）
3	授業の観察	教員	✓ 教員が同様の授業を観察し、男女を公平に扱っているかどうかを調べる

出典：Kogut, et al. Gender, G. Gender and Mathematics Secondary Materials Issues in the Teaching of Mathematics, State of Victoria Department of Education and Training, 2020.



▲男女別グループでの実験の様子

令和4年度調査研究 女子生徒の理工系進路選択を阻害する アンコンシャス・バイアスへの気づきを促す啓発動画

【事業概要】

- ・「女子は数学が得意ではない」等のアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が、女子生徒の理工系進路選択を阻害することがあります。
- ・そうしたアンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- ・動画は、学校の授業や実験における教員の声掛け、家庭における保護者の反応など、4つの事例から構成されています。

★動画は下記より御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=j97LxeLB-TQ>

Case1



★数学で高得点を取った女子生徒に教員が掛けた言葉は・・・

Case2



★理科の実験で器具操作と記録の役割分担が指示されるが・・・

Case3



★ガスバーナーの扱いに慣れていない女子生徒への教員の配慮は・・・

Case4



★工学部の大学案内を見て楽しそうに話す女子生徒への母親の反応は・・・





令和6年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業

●事業の目的

人口5万人未満の市区町村を重点的に対策すべき地域と定め、若手理工系人材による出前授業を実施することで、女子生徒の理系的体験の機会の創出と、地域におけるロールモデルの掘り起こしを目的とする。

●事業概要

- ・実施地域：5地域（人口5万人未満の市区町村から選定）

実施地域	実施日
栃木県那須町	令和6年10月15日
長崎県雲仙市	令和6年11月2日
宮城県東松島市	令和6年11月16日
香川県小豆島町	令和6年12月18日
岡山県新見市	令和7年1月13日

<参考>：令和5年度

実施地域	実施日
佐賀県基山町	令和5年9月9日
福島県喜多方市	令和5年11月4日
長野県阿智村	令和5年12月9日

- ・参加対象：小・中・高校女子生徒（男子生徒も可）、保護者・教員・地域住民等
- ・参加者数：50名程度（地域の教育委員会や学校と連携して募集）
- ・ロールモデル：理工系分野への従事期間が10年以内の若手女性人材（1地域3名）
（当該地域の地元企業・大学・研究機関等で活躍する理工系人材等）
- ・プログラム：ロールモデルの講演や専門分野に応じた実験等の体験（2～3時間程度）
- ・参加者アンケート：出前授業の満足度、理工系進路選択への興味関心度、理工系進路選択についてのメリット・デメリット等

令和6年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（総括）

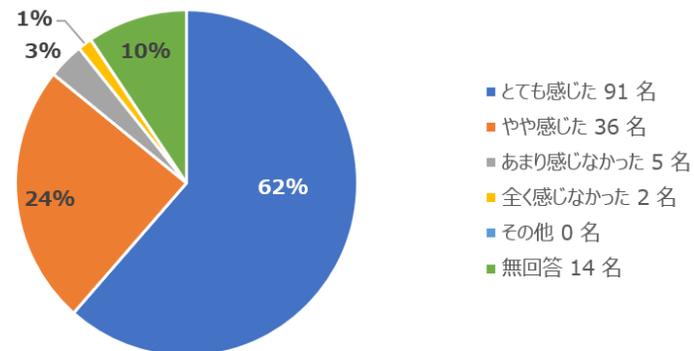
【令和6年度開催実績（総括）】

実施地域：栃木県那須町、長崎県雲仙市、宮城県東松島市、
香川県小豆島町、岡山県新見市

延べ参加者数：292名

（うち、児童・生徒：174名、保護者・教員等：118名）

イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒等の割合：86%



【授業の様子】

